

(2) 嶺北北部都市計画区域

都市の現状と課題

本都市計画区域は、平野部や北部丘陵地域等で農業が盛んであり、テクノポート福井を中心とした工業やあわら市の温泉等の観光産業も盛んに行われています。しかしながら、福井市域を中心とする生活圏が本都市計画区域に及んでおり、丸岡町や春江町等の都市南部で開発が拡散しつつあることから、本都市計画区域を越えた広域的な観点で都市づくりを進めていく必要があります。

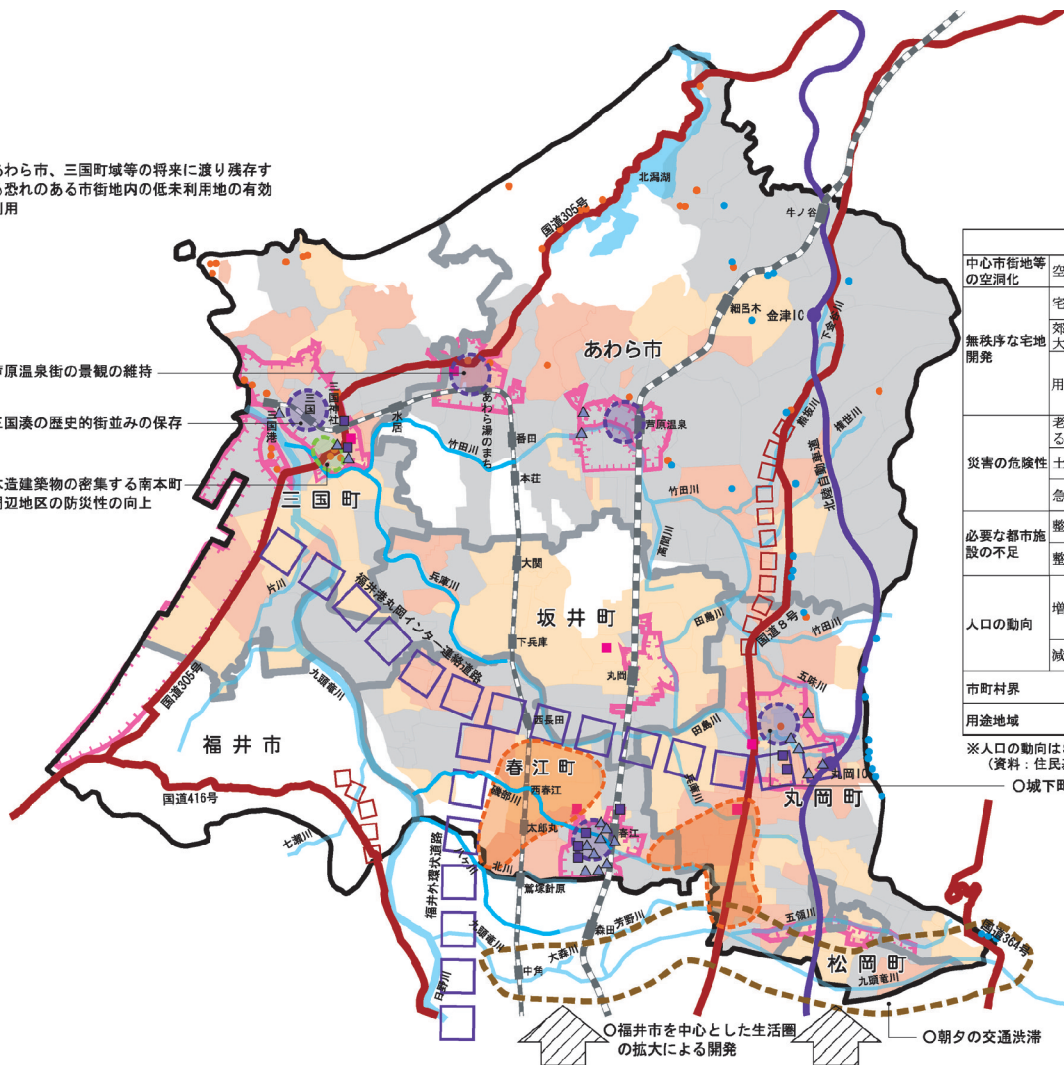
- 人口の減少や低未利用地の増加等による三国駅、あわら湯のまち駅、芦原温泉駅、丸岡駅および春江駅の周辺や丸岡城西側の地域の拠点における空洞化の進行
- 都市北部のあわら市、三国町での少子高齢化の進行、人口の減少
- 用途地域外への開発の拡散による都市南部の田園等の自然的環境の喪失
- 老朽木造住宅等の密集する三国町の南本町周辺等の防災性の向上
- 三国駅周辺の市街地中心部における三国湊として繁栄してきた歴史的な街並みの維持

○あわら市、三国町域等の将来に渡り残存する恐れのある市街地内の低未利用地の有効利用

○芦原温泉街の景観の維持

○三国湊の歴史的街並みの保存

○木造建築物の密集する南本町周辺地区の防災性の向上



凡 例		
中心市街地等の空洞化	空洞化している中心部	
無秩序な宅地開発	宅地開発が著しい郊外部	
	郊外に立地する大規模小売店舗（第1種大規模小売店舗）	
	工業以外の土地利用が進んでいる工業系用途地域	
用途の転換	工業以外の土地利用の進行が著しい工業系用途地域	
	老朽木造住宅が密集している可能性がある地区	
災害の危険性	土石流危険渓流	
	急傾斜地崩壊危険箇所	
必要な都市施設の不足	整備する予定の主要な幹線道路	
	整備する予定の河川	
人口の動向	増加している地区	
	10%以上増加	
	0~10%増加	
	減少している地区	
市町村界		
用途地域		

※人口の動向はS55からH12にかけての増減率（資料：住民基本台帳）

○城下町としての街並みの整備

○福井市を中心とした生活圏の拡大による開発

○朝夕の交通渋滞

嶺北北部都市計画区域マスタープランの内容

都市づくりの基本理念

1 豊かな田園と調和し歴史や文化が息づく都市づくり

「平野部、北部丘陵地域および三里浜砂丘地域等で盛んな農業、テクノポート福井等で集積した工業および温泉や自然的または歴史的な遺産を活用した観光産業等の産業」、「雄島海岸、北潟湖および九頭竜川等の優れた自然環境」および「三国湊の歴史的街並みや丸岡城等の歴史的・文化的な遺産」等の魅力的な都市の個性を守り・活かしながら、都市機能が向上していくように適切な土地利用や市街地の整備を行います。

期待される効果

- 都市の快適性、利便性および防災性の向上
- 人口や産業の流出の抑制
- 街中の居住回帰
- 都市の賑わいの創出
- 安心して暮らせる魅力ある都市空間の創出



湊町の風情が残る町並み(三国町)



歴史的・文化遺産である丸岡城(丸岡町)

2 持続可能な都市づくり

用途地域外では、都市計画に加え環境・農林・防災に係る土地利用の規制・誘導方策も活用しながら、地域の実情や望ましい地域像を勘案して、都市的土地利用をきめ細やかに抑制または制限していくとともに、地域の拠点では、生活の利便性が向上しゆとりある居住環境が確保できるように土地を有効に利用し、また適切に市街地を整備していくことで、まとまりとめりはりのある市街地を形成していきます。

期待される効果

- 公共投資の効率性の向上
- 農地等の里地や里山の自然的環境の保全
- 地域社会の維持
- 防犯性の向上
- 公共サービスに対する住民の負担の軽減
- 効率的な公共交通の運営
- 高齢者等の日常生活や社会活動の利便性の向上
- 既存の都市施設の遊休化の防止

3 都市間の連携による都市づくり

産業の生産拠点および近畿圏・中部圏や県内の各都市との連携を強化する広域交通網を整備し、また北陸本線や三国芦原線の公共交通の利用を促進するとともに、複数の市町村の連携による都市施設の整備や維持、またはその有効利用を推進していきます。

期待される効果

- 産業の活性化
- 交流人口の増大
- 都市の賑わいの創出
- 必要な都市施設の効率的な整備
- 財政負担の軽減

4 隣接都市間と調和した都市づくり

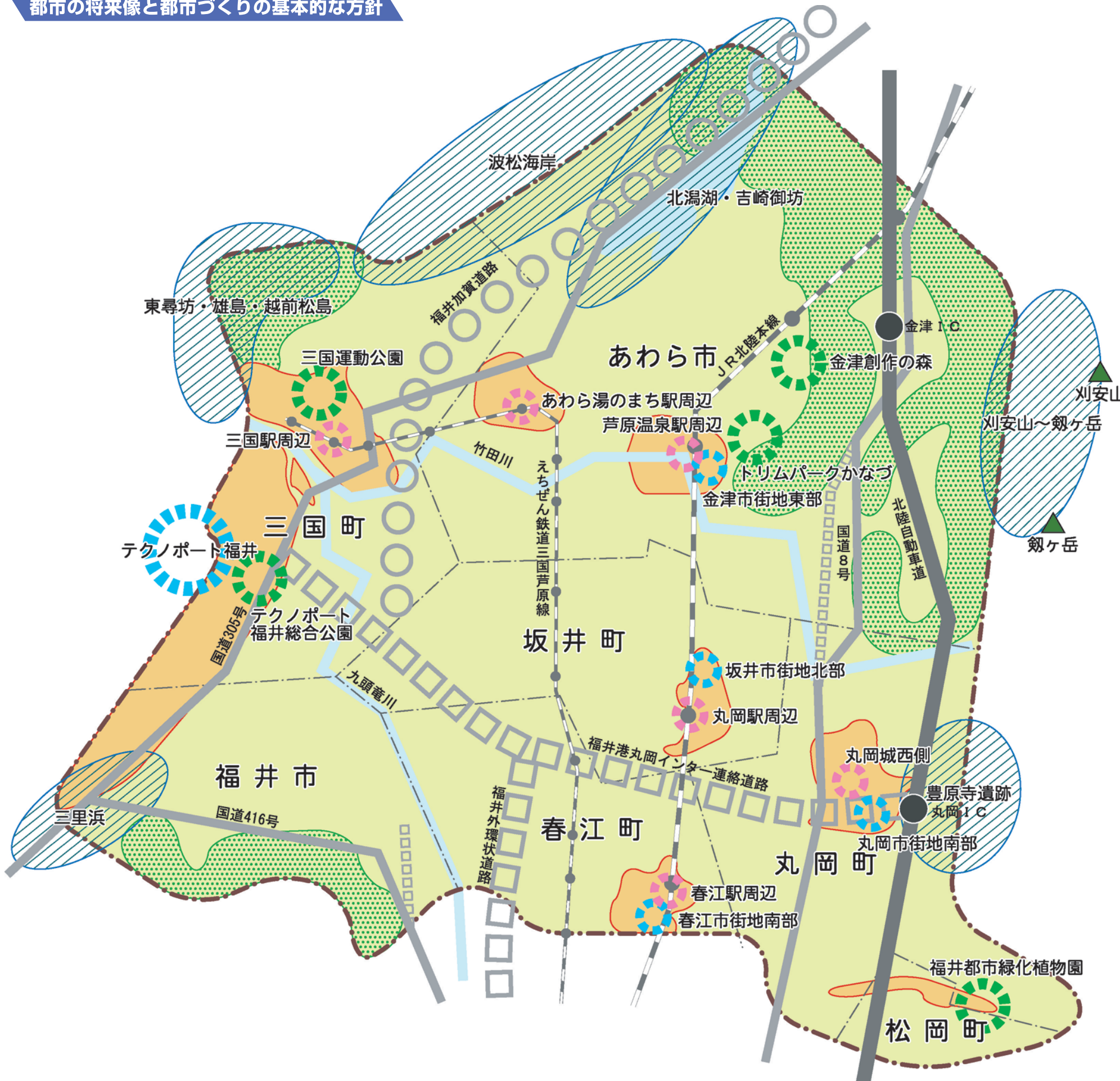
福井都市計画区域や当該都市計画区域内の市町の間で土地利用の整合を図りながら、まとまりのある市街地へ誘導していきます。

期待される効果

- 農地等の里地や里山の環境の保全
- 地球環境の保全
- 公共投資の効率性の向上



保全すべき優良農地(坂井町)



注) 上記図は、都市計画区域マスタープランにおいて示した土地利用、都市施設、自然的環境の保全または整備に関する方針等を一枚にとりまとめた概念図である。

魅力的な地域環境の維持・まとまりのある市街地形成に向けた土地利用

- 計画的に市街化を図る区域
 - ・きめ細かく無秩序な市街化をコントロールし、現在の用途地域の範囲を基本としてまとまりのある市街地形成を図る。
 - ・地域の実態・将来像に応じて市街地内の低未利用地の有効利用を図るとともに必要に応じて用途地域の転換を図り、適切な都市的土地利用を促す。
- 保全する山地・里山
- 保全する田園等
- すぐれた自然環境や景観を保全する地域
 - ・風致地区や緑地保全地区等の活用を図り積極的に保全する。

生活や産業の拠点づくり

- 地域の商業等の主な拠点
 - ・地域の生活の拠点として維持・形成する。
- 工業・流通業務の主な拠点

快適で安心な日常生活や機能的・創造的な産業活動を支える都市基盤づくり

- 都市間を結ぶ主要な幹線道路 (供用済み)
 - ・都市・地域間の連携・交流を支援する道路網の構築を図る。
- 都市間を結ぶ主要な幹線道路 (将来整備する予定の路線)
 - ・無秩序な宅地開発を誘発しないよう道路の位置・構造の調整または沿道の土地利用規制を図る。
- 都市間を結ぶ主要な幹線道路 (検討路線)
- 主な河川
 - ・治水機能の確保、良好な水環境の保全、水と緑豊かな水辺空間の保全と整備を図る。
- 主なレクリエーションの拠点 (供用済み)
 - ・特に自然の潤いが不足している市街地で緑地の整備を推進し、30%以上の緑地の確保を目指す。

- 都市計画区域
- 市町村界
- 鉄道